

研究課題名	高悪性度神経膠腫についての手術方法および摘出度、予後についての後方視的研究
研究の意義・目的	高悪性度神経膠腫に対する覚醒下手術の有効性については議論のあるところであり、全身麻酔下に手術を行った患者様との成績を比較することにより、覚醒下手術の利点および欠点を明らかにします。
研究を行う期間	倫理委員会承認後～ 2025 年 6 月
研究協力をお願いしたい方(対象者)	2017 年 8 月～2021 年 7 月に大阪市立大学医学部附属病院の脳神経外科で高悪性度神経膠腫と診断され、治療された方が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報等：【病歴、診断名、年齢、性別、既往歴、家族歴、神経学的所見、CT 画像、MRI 画像、手術画像】
試料・情報の他機関への提供	この研究は大阪市立大学医学部附属病院脳神経外科のみで行い、他の施設に試料・情報は提供いたしません。
この研究を行っている共同研究機関	この研究は大阪市立大学医学部附属病院脳神経外科のみで行います。
試料・情報を管理する責任者	大阪市立大学大学院医学研究科 脳神経外科学 研究責任者 中条 公輔
本研究の利益相反	利益相反の状況については大阪市立大学利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪市立大学大学院医学研究科 脳神経外科学 (担当者氏名) 中条 公輔 メールアドレス：neurosurgery@med.osaka-cu.ac.jp